

9月の診療のご案内 診療は予約制です。急患の方は、電話で御相談下さい。当日も受け付けしております。

診療時間		月	火	水	木	金	土	日	
午前	受付時間 8:30 ↓ 12:15	内科一診	内山 (13・27) 密山 (6)	♥今 関	内山 (1・15・29) 密山 (8・22)	永 井	♥今 関	藤 本 (4・18) 鈴 木 (11)	休 診
		内科二診	♥瀧 井	高 橋	高 橋	高橋(央)	岸 本	河 野 (25)	
		内科三診	平 山 (糖尿病外来)	休 診	鈴 木	♥中 村 (糖尿病外来)	高 橋	休 診	
		内科四診	休 診	中 川 (胃カメラ)	休 診	高 橋 (2・16)	休 診	休 診	
午後	14:00 ↓ 15:30	内 科	内山 (毎週) 密山 (6)	♥今 関	内 山 栄養相談	休 診	岸 本	休 診	
		往 診	高 橋	高 橋	高 橋	永 井	♥今 関		
夜 間	18:00 ↓ 20:00	内 科	休 診	当番医	休 診	永 井 河 野 (2・16)	休 診	休 診	
専門外来	フットケア外来 毎週火曜日 午後	糖尿病外来 毎週月・木 午前	禁煙外来 ※当面休止します	健診後外来 毎週月・火・水・金 午後 火・木 夜間					

♥印は女性の医師です

休診・変更
の
お知らせ

- オレンジカフェ 今月は中止の予定です。再開の時は改めてお知らせします。
- いっどこ体操 9/2(木)、16(木) 14時30分～ 診療所待合室(緊急事態宣言中は開催しません)
- 移動野菜販売 毎週金曜日13:30～14:30で行っています。また、「何でも健康相談」同時開催中です。

医療と暮らしの
なんでも相談

9/30(第5木曜日)
18時～19時

医療費等でお困りの方はご相談ください。



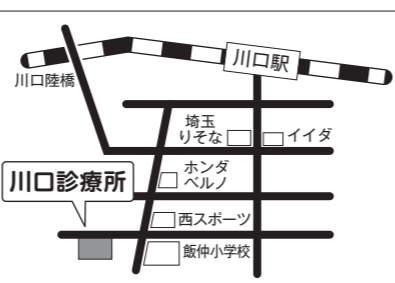
送迎サービスのご案内

通院が困難な方に無料送迎を行っています。(予約制)
・高齢のため徒歩や公共交通機関での通院が困難
・1人で車の乗り降りができる
・送迎範囲が川口診療所から約2km圏内
詳しくは職員までお問合せください。

川診と協同病院の
連絡バス時刻表

川口診療所発	協同病院発
9:15	8:40
12:25	11:50
15:45	15:00

※土曜日のバス運行はありません



定期的な往診を
おこなっています

在宅療養で定期的な医療管理が必要な方に対し、医師・看護師がお宅にお伺いし診療します。まずはご相談下さい。



川口診療所だより

きゅーぽら

<http://www.kawaguchi-clinic.coop/>

〒332-0022 川口市仲町1-36 ☎ 048-252-5512 FAX 048-252-4090 メールアドレス info@kawaguchi-clinic.coop



コロナに負けずに心をつなごう!

昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大は、一向に収まる気配を見せず、緊急事態宣言も延長の方向が示される事態になってきました。(8/16現在)

足掛け2年、本当に疲れましたね。こんな中でも、「医療生協だからできること」を大切に、「つながって」乗り越える地域の仕組みをご活用ください。



①「医療」で心配事があったら診療所にお電話を!

- ・川口診療所では、通常の医療活動をつづけながら、「発熱外来、ワクチン接種」をはじめ、地域の皆さんの健康を守る事業に精一杯取り組んでいます。
- ・体調の不安、どこを受診したらいいかわからない、お金がなくて診療にかかれないなど、困ったときは診療所にお電話ください。医師、看護師、社会福祉士・ケアマネージャーなど専門職が相談に答えます。

②「暮らし」で心配ごとがあったら診療所にお電話を!

- ・「食べるものがない。」「誰かの手を借りたい」など、困ったときは診療所にお電話ください。まちづくりコーディネーターが行政や地域の専門家につながります。

③「介護」で心配事ごとがあったらすこやか・診療所にお電話を!

- ・「介護保険の相談」「デイケアの利用」「ヘルパーさんの派遣」など、困ったときはお電話下さい。ケアマネージャー、デイケア相談員がサービスにつながります。

地域では、感染予防を徹底して、公園で体操、ウォーキング、お元気ですかの電話かけなど、日頃のつながりを大切に、つながり続ける取り組みを行っています。コロナ禍でコミュニケーションの機会が減り、生活の張り合いも減ってきています。「けんこうと平和」「キューポラ」など、支部の方から配られる医療生協の機関紙を通じて、地域のこと、身体のことを知り、新しい張り合いを見つけていきましょう。

一人じゃないですよ!

この地域には5000人を超える組合員と、100名近い医療生協の職員(川口診療所・ケアセンターすこやか)がいます。何かあったらお電話ください。(担当:まちづくりコーディネーター伊藤・鹿野)



デイケア と デイサービスの違いは？

デイケア、デイサービスと言う言葉を聞いたことがあるでしょうか？デイケアとデイサービスは介護保険サービスの通所型介護サービスに属します。

それでは何が違うか分かりやすく紹介します。

デイケアは「通所リハビリテーション」デイサービスは「通所介護」が正式名称となっております。2つの一番の大きな違いは医師が常駐しているかと言う点です。これは法律で定められており、デイケアは医師を置くことが義務であり、デイサービスには医師は常駐していません。

デイケア と デイサービスの比較

デイケア

目的：自立支援に向けたリハビリが中心

身体機能の維持・回復、日常生活の回復など継続的なリハビリテーションを行いたい方や自宅での生活に不安を感じている方に対し、医療面での連携を図り、専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など)による必要なリハビリテーションを提供します。

サービス内容：リハビリテーション・入浴・介護支援・医療的支援・レクリエーションなど

デイサービス

目的：自立生活の支援

外出・社会的な交流、閉じこもり防止、家族負担の軽減など
在宅生活を継続したい方に対して、生活機能が落ちないようにすることを中心とした機能訓練を提供します。

サービス内容：機能訓練・入浴・介護支援・レクリエーションなど



「デイケア」サービス利用までの流れ

- 1 要介護認定(要支援1・2、要介護1～5)
※介護認定については最寄りの居宅介護支援事業所・地域包括支援センターへお問い合わせ下さい。
- 2 担当ケアマネジャーに利用相談(施設見学なども対応)
- 3 主治医の作成する各書類提出(診療情報提供書)
- 4 ケアプラン作成(担当ケアマネジャーが作成)
- 5 通所判定会議
- 6 重要事項説明・契約
- 7 利用開始

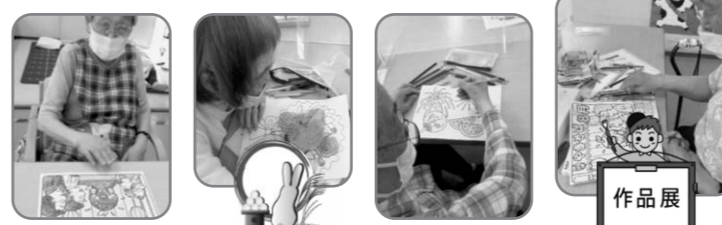
介護保険申請済の利用者様で、「最近、歩行に不安がある」「病院からの退院後で体力・筋力を向上させたい」「理学療法士など専門職のリハビリを受けたい」「デイケアすこやか」でリハビリテーションを通して身体機能の維持や回復、認知機能の改善を図りませんか。

「デイケアすこやか」では併設する川口診療所と利用者様の身体状況についてのご相談や、緊急時の対応など常に連携をとり、安全なリハビリの提供を行っています。施設見学は随時受け付けています。気軽にご相談下さい。



デイケアすこやか

秋の展覧会に出品する「ぬり絵」を楽しみました。個性豊かな色使いの作品ばかりです。ご期待ください。



タオルを使ってリハビリを行いました。



タオルご提供のお願い

タオルを使ったリハビリ体操やゲームなど、幅広い用途でタオルを必要としております。ご家庭でご不要になったフェイスタオルやバスタオルなどご提供頂ければ幸いです。



「秋バテ」にご用心！（原因編）

主に梅雨ごろから8月の猛暑続きに起こることが多い「夏バテ」と違い、いわゆる「秋バテ」は秋の初めごろに見られる心身の不調のこと。体力の低下や自律神経の乱れなどに気候の変化が加わることで起こり易くなるといわれています。冷え込んだり暑い日が戻ったりと寒暖の差が大きい初秋は、自律神経の動きが不安定になりやすく体調不良が起こりがちな季節といえます。さらに高気圧と低気圧が交互に入れ替わり、加えて台風などで急激な気圧変化にさらされることがストレスとなって自律神経が大きく乱れます。夏の間の冷たいものの食べすぎで生じた消化器系の機能低下も大きく影響します。(次号秋バテの解消法)



お問い合わせは下記電話まで
川口診療所デイケアすこやか 担当:須崎・久保 ☎048-252-5620

ケアセンターすこやか

空振りの避難こそ、最高の避難訓練



気候変動で世界のあちこちで色々な災害で命を落とすニュースを聞くたびに、被害を最小限に抑えいかに命を守る事が出来るか？市町から避難準備情報・勧告が出た時やその前に「前回の避難では空振り、大丈夫だったから！」と思わずに避難のたびに「空振り避難は、何度でもその都度避難訓練になった！」と思い、最悪の状態の時に慌てずすみやかに避難が出来る様に利用者様と共に心掛けて行きたいと思えます。

ヘルパーステーションすこやか 訪問介護員

介護のご相談は CCすこやかへ
☎048-299-8000
ヘルパーさん随時募集!!
笑顔で一緒に働きませんか？

コラム 内科医 内山 隆久

猪俣百八燈 (いのまたひやくはつとう)

後三年の役の恩賞に皇位継承問題も絡み、藤原信西と藤原頼朝とが対立。応援団として後で支援する武士の腕力がものをいう時代に移り、源平が対抗意識を燃やすことになる。武将 小平六範綱(こへいろくのりつな)は源義明・頼朝に、平治の乱では源義平に仕えた。

「悪源太義平は、色も変らぬ17騎、本の陣にぞ控えたる。」坂東武者は破れた鎧を繕う暇もなく、本陣で平重盛の攻撃に備えていた。義朝に従うつものは、悪元太義平19歳・朝長(ともなが)16歳・頼朝12歳など子供ばかりで頼りない。しかし、鎌田正清、三浦義澄、斎藤実盛などの後見人がついてた。総勢は200余騎。陽明門の守りを固める平家勢は300騎。武士同士の本格的な闘争の始まりであった。

「軍は巳の刻の半ばより矢合わせして、互ひに退くかたなく、一時ばかりぞ戦ひける。重盛は、千騎の勢を二手に分けて、五百騎をば大宮面にたて、五百騎を相具して、待賢門に打破り喚(おめ)ひて駆入りければ、信頼ひと堪へも堪へず、大庭の樗(あふち)の木元まで攻め付たり。」

重盛(23歳)は、平安文化の艶やかさを纏った若者。「赤地の錦に直垂に、櫛(はじ)の匂ひの介(よろひ)に、蝶の裾金物をぞうちたりける。鶴毛(つぎげ)なる馬の甚だ遅しきが八寸(やき)あまりなるに、金覆輪(きんぷくりん)の鞍を置きてぞ乗りたりける。」

埼玉県児玉郡美里町。盆の季節には、坂東十七騎の1人として活躍した「小平六範綱」の霊を慰めて「猪俣百八燈」が焚かれる。「百八燈」と書かれた提灯を手に、堂前山の坂道を笛を吹き太鼓を叩きながら上る子供だけの行事。何を思い、何を念じるのだろうか。

各地にみられる子供から大人への登龍門の一つ。何時までも残して置きたい文化である。